

設置届の場合

様式第10号（第38条関係）

該当するもの以外は二重線で消してください

変更届出の場合は、変更のある部分について、別紙に
変更前及び**変更後**の内容を対照させて記載してください

指定粉じん発生施設設置 ~~（使用、変更）~~ 届出書

該当する環境管理事務所名又は市名を記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

提出日を記載してください

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

押印の必要はありません

届出者 〒330-9301

氏名又は名称、住所を記載してください
（※法人の場合は、本社の名称、住所、代表者の氏名）

埼玉県さいたま市高砂3-15-1

〇〇工業株式会社

代表取締役社長 埼玉五郎

（電話番号 048-824-2111）

該当するもの以外は二重線で消してください

埼玉県生活環境保全条例第52条第1項 ~~（第53条第1項、第54条第1項）~~ の規定により、指定粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工業(株) 資材置場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	◇◇市〇〇 1-2-3	※ 収受年月日	年 月 日
指定粉じん発生施設の種類	1項 土石の堆積場	施設の項番号（埼玉県生活環境保全条例別表第2表3参照）及び種類を記載してください（※パンフレット参照）	例 1項 土石の堆積場 3項 摩砕機 6項 ふるい
指定粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙のとおり。	※ 審査結果	
		※ 備考	

備考

- 1 指定粉じん発生施設の種類の欄には、同条例別表第2表3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

同じ項番号の施設の場合、同時に複数の施設を届け出ることができます

指定粉じん発生施設（たい積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		1	設置届出 → 着手予定年月日、使用開始予定年月日 使用届出 → 設置年月日 変更届出 → 設置年月日、着手予定年月日、使用開始年月日 をそれぞれ記載してください	
名称及び型式		第1堆積場		
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	
使用開始予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	
規模	面積 (㎡)	800		
	たい積能力 (t)	2240 t		
たい積物の種類、性状及び通常の年間延べたい積量 (t/年)		比重 1.6 t/m ³ 建設発生土 水分7% 9216 t/年	比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載してください	
たい積場がその中に設置されている建築物の概要		屋外		
使用及び管理の方法	散水	装置の種類・型式・基数 高圧洗浄機 EHW90 1基	実施の量(たとえば散水の場合は水量 l/t)、実施頻度等を記載してください	
		装置の能力		660 L/h
		散水の方法		10 L/t 常時散水
防じんカバーの設置状況				
薬液散布	薬液の種類・名称			
	装置の種類・型式・基数			
	装置の能力			
	散布の方法			
締固め	装置の種類・型式			
	方法			
その他	方法		散水等と同等以上の効果を有する措置をとっている場合には、その方法を記載してください	

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 たい積物の種類、性状及び通常の年間延べたい積量の欄には、比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べたい積量について記載すること。
 - 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量(たとえば散水の場合には水量 L/t)、実施頻度等を記載すること。
 - 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
 - 5 指定粉じん発生施設及び粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

